

## 別記

様式第1号(第8条、第9条、第12条関係)

## 事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2025年 7月 28日

(宛先)

滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)

東京都豊島区南池袋一丁目16番15号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)

株式会社西武不動産

取締役社長 齋藤朝秀

滋賀県CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例第25条第3項→第25条第4項  
第27条第1項→第27条第2項において準用する同条例  
第26条第1項  
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項

の規定に基づき、事業者行動計画を策定 (変更)  
事業者行動報告書を作成したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	株式会社西武不動産 取締役社長 齋藤朝秀
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都豊島区南池袋一丁目16番15号

## 1 事業者の概要

事業所の名称	びわ湖大津プリンスホテル					
事業所の所在地	滋賀県大津市におの浜4丁目7番7号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	7	5	1	1	※産業分類・細分類名称を記載 旅館、ホテル
事業の概要						
従業員の数	350	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者 <input type="checkbox"/> 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	5	台	熱源設備	7	台
	コンプレッサ		台	空気調和設備	58	台
				照明設備	約15,000	台
				その他		

## 2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始年度	2022	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了年度	2026	年度			

## 3 計画の(内容・実施状況)

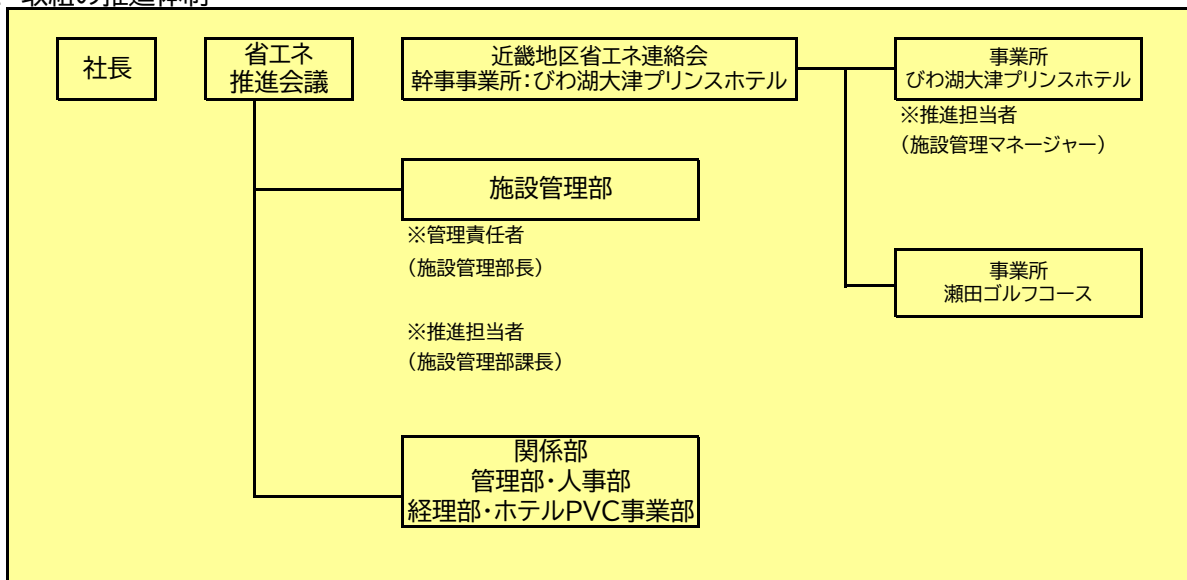
計画の(内容・実施状況)	別添のとおり
--------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

<p><b>グループ理念</b></p>	<p>私たち西武グループは地域・社会の発展、環境の保全に貢献し、安全で快適なサービスを提供します。 また、お客様の新たな感動の創造に誇りと責任を持って挑戦します。</p>
<p><b>グループ宣言</b></p>	<p>共に歩むこと 常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません。 常に、地域社会の一員として行動します。</p>
<p><b>省エネ推進の取り組み</b></p>	<p>1、環境や省エネに対する意識向上を図り、温暖化対策に努める。 2、エネルギー使用状況の把握に努め、無駄のない施設運転・運用管理を実施する 3、建物・設備のライフサイクル視点での修繕・更新計画を立案し、対策を継続的に進める。</p>

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに係る取組

びわ湖大津プリンスホテルでは2007年度よりエネルギー使用量の削減に取り組んでおり、原油換算量では2007年度6,113klをピークに毎年減少しており、2021年度では3,550klと41.9%の削減をしている。二酸化炭素排出量においては2007年度より増加しておりますが、電気排出係数が2007年度に比べて、かなり高い数値となっているためである。

- ・宴会棟(淡海)系統冷凍機を高効率型冷凍機に更新(2017年度実施)
- ・宴会棟(淡海)系統系統冷水ポンプINV設備取付(2017年度実施)
- ・ホテル棟低層・高層パッケージ系統、厨房機器用冷却塔を更新(2017年度実施)
- ・宴会棟(淡海)系統冷却塔を更新(20217年度実施)
- ・照明設備を省エネ効率の高い照明器具に更新(随時実施中)
- ・プレハブ冷蔵冷凍庫用冷凍機更新(2017年度一部実施)
- ・館内誘導灯をLED誘導灯に更新(随時実施中)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明設備を省エネ効率の高い照明器具に更新	2022年度～2026年度	一部実施済み
2	設備導入	館内誘導灯をLED誘導灯に更新	2022年度～2026年度	未実施
3	設備導入	プレハブ冷蔵冷凍庫用冷凍機更新	2022年度～2026年度	一部実施済み
4	設備導入	厨房内冷蔵庫及び冷凍庫入替	2022年度～2026年度	一部実施済み
5	設備導入	宴会棟エレベーター・エスカレーター更新	2022年度～2026年度	宴会棟エレベーター更新は2024年度実施

(2) エネルギー起源CO<sub>2</sub>以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>上記の取組等により、2021年度と基準年度とし、以下の数値目標を目指します。</p> $\text{原単位} = \frac{\text{エネルギー使用量(原油換算k)}}{\text{延べ床面積(69,213.52)}} = \text{で毎年2\%削減}$	<p>2024年度は2021年度に対しまして、お客様の来館人数が増加したことにより、エネルギーの使用量も増加した。また、電気の排出係数が増加したことも数値の増加につながった。よって、2024年度は基準年である2021年度に対して、原単位+0.00486(+9.5%)増加した。温室効果ガス排出量では、2024年度は基準年である2021年度に対して+1,605t-CO<sub>2</sub>増加(+28.7%)</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	( )年度	( )年度	
原油換算エネルギー使用量	kL	3,550	4,062	3,803	3,886		
温室効果ガス総排出量	t-CO <sub>2</sub>	5,596	5,714	6,348	7,201	0	0
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	5,596	5,714	6,348	7201		
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	0	0	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
N <sub>2</sub> O	t-CO <sub>2</sub>						
HFCs	t-CO <sub>2</sub>						
PFCs	t-CO <sub>2</sub>						
SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>						
エネルギー等原単位の推移		0.05129	0.05869	0.0549	0.0562		

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	今後の設備更新時には廃熱利用などできる機器の選定など考えていく
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ( )	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告			
			(2022)年度	(2023)年度	2024年度	( )年度
再エネ電気設備での発電量	kWh					
上記のうち自家消費量	kWh					

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減によりCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容およびその実績

取組の内容等	取組の実施状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・びわ湖 大津プリンスホテルにおける環境配慮製品の開発として、平成9年より自然保護環境キャンペーンの一環として、2泊以上連泊されるお客様に客室ノークリーニングサービスを実施しています。</li><li>・客室内にウォッシュャブルスリッパの採用</li><li>・ストローをプラスチック製から紙製へ変更しています。</li><li>・ホテル大津駅間にシャトルバスを定期運行しており、お客様の利便性と共によりマイカーの促進に努めています。</li><li>・国内施設の直営店舗においてプラスチック製買い物袋の有料化を開始し、1枚3円にて販売し、その売上金を各施設が位置する地方自治体に寄付し、地域の環境保全活動や社会貢献活動に活用いただきます。</li><li>・客室におけるお客様への省エネ・節電の呼びかけとして、各部屋に節水の表記を実施。</li></ul>	すべて継続して実施しています。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

目標および目標設定の考え方
<p>考え方</p> <p>西武グループでは、経営理念であり、社員一人ひとりの行動指針であるグループビジョンの中でグループ宣言の一つとして「共に歩むこと」を宣言しており、そのなかで“常に、自然環境、地球環境への配慮を忘れません”というコミットメントのもと、持続的な成長に向けて環境保全に努めるとともに、循環型社会実現に寄与する各種取り組みを進めております。全世界で環境問題への意識が高まる中、プリンスホテルは、従業員一人ひとりが環境保護のためにできることを考え、実践し、地球環境の保全に貢献できるよう努めてまいります。</p> <p>「ノーマイカーの促進」を行うことにより、公共交通手段の維持・確保、排気ガスによる二酸化炭素などの環境負荷の低減、交通渋滞の緩和等を目指している。</p>

(3) 上記の取組にかかる目標の進捗に対する自己評価

目標の進捗に対する自己評価
大津駅～ホテル間でのシャトルバス運行は継続実施しています。 目に見えての数字としては表われませんが、今後も継続していきたいと思っております。

7 その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに資する取組

## (1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(2022)年	(2023)年	2024年度	( )年	( )年
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO <sub>2</sub>	5,596	5,714	6,348	7,201		
【調整後排出係数】	kg- CO <sub>2</sub> /kWh	1,878	2,287				
特記事項							

## (2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			( )年	( )年	( )年	( )年	( )年
グリーン証書の購 入	t-CO <sub>2</sub>						
クレジットの購入	t-CO <sub>2</sub>						
特記事項							

## (3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1	来客者の交 通対策	近隣駅までのシャトルバスの運行をしている。	2022年度～ 2026年度	継続して実施しています。
2				
3				

## (4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				(2022)年	(2023)年	(2024)年	( )年	( )年
	保有車輛の数	台	9	9	9	9		
	上記のうち 次世代自動車の数	台	0	0	0	2		
特記事項								

(5) その他のCO<sub>2</sub>ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	その他	ホテル棟及び宴会棟の除雪施設を加圧浮上方式から生物処理方式に変更し、施設からの汚泥排出量ゼロに向けた取り組み。	2022年度～ 2026年度	継続して実施しています。
2	その他	地域と連動して湖岸の環境美化の取り組み。 年1回のびわ湖一斉清掃の実施	2022年度～ 2026年度	継続して実施しています。
3	その他	生ごみ処理機を2009年より導入し、生ごみ量削減に取り組んでいる。バイオ処理で年間約100トン処理	2022年度～ 2026年度	継続して実施しています。
4				
5				